



# 楷

第七十八号

岡山大学  
 附属図書館報  
 OKAYAMA UNIVERSITY  
 LIBRARY BULLETIN

KAI  
 No.78  
 2024  
 FEBRUARY

<写真>

とうめうの木  
 山中草叢ノ中ニ  
 生ス小木ナリ花  
 實ナシ

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

一 目 次

- 「岡山大学入門講座」と附属図書館  
 -アカデミック・ライティング力向上に向けた取組み-  
 （グローバル人材育成院 稲森 岳央、教育推進機構 宇塚 万理子）…… p.2
- マスカット…………… p.5  
 池田家文庫絵図展報告、知好楽セミナー報告、学生・館長懇談会報告 ほか
- 会議・研修・編集委員から…………… p.12

# 「岡山大学入門講座」と附属図書館 - アカデミック・ライティング力向上に 向けた取組み -

稲森 岳央  
宇塚 万理子

## 1. アカデミック・ライティング教育の現状

「あなたがどう思おうが、そんなことは関係ない」

日本人が欧米大学に留学すると、必ずぶつかる壁の一つにアカデミック・ライティングがある。「私は…思います」、「私は…考えます」という感想文のようなレポートでも良しとされることも多い日本の大学に対し、欧米の大学では、自分の意見を展開するには、主張する意見をサポートする Fact が必要とされる。

初年次教育とは、「高等学校から大学への円滑な移行を図り、大学での学問的・社会的な諸経験を“成功”させるべく、主として大学新入生が対象に作られた総合的教育プログラム」（文部科学省、2008）を指すが、文部科学省（2023）が日本国内の国公立 793 大学を対象に実施した教育方法の改善に状況に関する調査では、令和 3 年度に「初年次教育を実施している大学」は 98%（733 大学）、その中で「レポート・論文の書き方等の文章作法」を指導している大学は 91%（686 大学）とであった。

日本においてアカデミック・ライティングという言葉は浸透しつつあるが、レポートや論文を書く際に必要とされるアカデミック・ライティング教育は、米国に比べ遅れているとされる（笠木、2022）。他人の論文や業績、仕事の全てあるいは一部を、あたかも自分が書いたものとして発表することは、学生風にコピーと言えは軽いが、剽窃することは「犯罪」であると、欧米大学では徹底的に指導される。これら不適切な論文やレポートを検出するために、1998 年、インターネットベースの盗用・剽窃検出サービス会社 Turnitin は設立された。その後、2000 年代から欧米を中心に多くの大学を中心に普及し、2023 年現在、世界 140 か国 16,000 以上の教育機関、出版社、企業で導入されている（Turnitin, 2023）。

## 2. 「岡山大学入門講座」における岡山大学附属図書館の役割



【岡大入門講座授業の様子】

大学に入学したばかりの学生達に最初にアカデミック・ライティングを教えているのが、岡山大学附属図書館である。本学では、初年次教育を効果的に行うことを目的に、2016 年より「岡山大学入門講座」を開講し、それまで学部毎に行っていた内容を一本化することになった。これにより、初年度に知っておいてほしい内容を確実に学生に伝えることができるようになったのである。この「岡山大学入門講座」における岡山大学附属図書館の貢献は、

2015年の準備期から合わせると8年間続いており、全学ガイダンス部会の委員としても、効果的なガイダンス授業実施のために活動いただいている。

「岡山大学入門講座」では、2,200人以上の新入生を10クラスに分け、計8回（一単位）の授業を実施している。岡山大学附属図書館が担当する『大学での学びと図書館』は、大学での学びを深めるため、アカデミック・ライティング（岡山大学入門テキストでは「論証型レポート」）作成のための方法とスキルが指導されている。

具体的には、論証型レポートの作成方法、図書館の施設、図書の貸し出し方法、自動貸出装置の使い方、蔵書検索（OPAC）に使用方法、論文（学術雑誌）・新聞・視聴覚資料・電子ジャーナル・電子ブック等の利用方法とルール等である。図書館は学習や調査研究に必要な資料・情報を収集し、そのリファレンスサービスによって、利用者が必要とする情報を提供している。これらの資料や情報なしに、アカデミック・ライティングに取り組むことは不可能である。よって、新入生は、「岡山大学入門講座」での学びを通じて、情報リソースにどのようにアクセスすればよいか、どのようにレポートや論文を執筆すればよいかの知識とスキルを身に付けてきた。



【岡山大学入門テキストと岡山大学附属図書館が担当する「大学での学びと図書館」】

### 3. オンラインによる学びの多様化

コロナ禍の影響を受けた2020年度から、「岡山大学入門」のオンライン化が始まった。授業用動画、自動貸出機の使用法動画、図書館バーチャルツアー動画、蔵書検索（OPAC）を使用した検索問題（指定された図書がどこにあるのか三択で回答）等を導入した。2020年度は、2,000名以上の新入生がMoodleにアクセスしたため、Moodleだけでなく蔵書検索（OPAC）のシステムがダウンしてしまうこともあったが、オンラインによる学習環境は改善され、その後は円滑にオンライン授業が実施された。

また、コロナ禍が少し落ち着いた2021年度からは、オンラインでの学びと、図書館で実際に図書



【電動式移動棚の使用方法について学ぶ  
（「大学での学びと図書館」オンライン教材より）】

を借りるオンサイトの課題によるハイブリッド式に移行した。2022年度になると、コロナ禍による影響が少なくなったが、一クラス200名を超える新入生全員が三密を避け受講できる安全な環境を確保することが困難であることから、ハイブリッド式による学びが継続された。

このような試みにより、コロナ禍の影響を受けながらも、学びに必要な情報を提供し続け、ポストコロナにおける初年次教育につながっている。

#### 4. アカデミック・ライティング推進のために

アカデミック・ライティングを支援するためのサービスとして、ライティング・センターがある。学生が作成したテキストを、ライティング・センターのチューターがアドバイスするサービスであり、特にアメリカの大学では、アカデミック・ライティングスキルを向上させるために、多く見られるサービスである。

文部科学省(2023)によると、「ライティング・センター等、日本語表現力を高めるためのセンター等の設置」という取り組みを行っている大学は、2017年の段階では、91大学(国立18大学、公立2大学、私立71大学)であり、その割合は11.9%であった。その後、2022年のデータでは、752大学中116大学(国立25大学、公立4大学、私立87大学)と増加し15.0%となっている。そして、このライティング・センターは、その性質上、図書館に設置されていることが多い。

卒業論文を執筆する場合は、必ず、必要となるアカデミック・ライティングスキルであるが、一朝一夕にできるものでもなく、どこまで引用をすればよいのか、フォーマットはどうすればよいのか、訓練が必要となる。よって、基礎教育科目だけでなく、専門科目の学習を通じた実践的な訓練も行うことが望ましいとされている(文部科学省,2008)。このことから、アカデミック・ライティング推進には、関係者全員がその重要性を認識した上で、初年次教育のみならず全学レベルでの取り組みが必要となるであろう。

2025年度の教養教育改革により「岡山大学入門講座」は終了し、新に「知の探研」科目が開講されるが、附属図書館の授業内容は引き継がれる予定となっている。時代が変わっても附属図書館での学びは大学生にとって欠かせないものであることには変わらない。今後も「知の拠点」、そしてアカデミック・ライティング教育の根幹を担っていく附属図書館の益々の活躍を期待したい。

(いなもり・たかお グローバル人材育成院 准教授)  
(うづか・まりこ 教育推進機構 教授)

#### 【参考文献】

- 笠木雅史 (2022) 「教育改革とライティング教育 アメリカのライティング教育史からの視点」、崎山直樹・二宮祐・渡邊浩一 編『現場の大学論 大学改革を超えて未来を拓くために』ナカニシヤ出版。
- 文部科学省 (2008) 学士課程教育の構築に向けて (答申)  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm)  
(参照 2023-12-07) .
- 文部科学省 (2020) 大学における教育内容等の改革状況について (平成29年度)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigaku/04052801/1417336\\_00005.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1417336_00005.htm)  
(参照 2023-12-07) .
- 文部科学省 (2023) 大学における教育内容等の改革状況について (令和3年度)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigaku/04052801/1417336\\_00010.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1417336_00010.htm)  
(参照 2023-12-07) .
- Tumitin (2023) ターンイットインとは <https://www.tumitin.jp/> (参照 2023-12-07) .

# マスカット

## 池田家文庫絵図展報告

2023年10月7日（土）～2023年11月5日（日）に岡山シティミュージアム 5F 展示室を会場に池田家文庫絵図展「岡山藩の郡・村と藩政」を開催しました。

初日には開会式および企画・監修の本学東野将伸社会文化科学学域講師によるオープニングトークを実施しました。また、10月28日（土）には京都府立大学文学部歴史学科 東昇教授による記念講演「近世の地域社会と藩政 一宗門改と人の把握一」を開催し、57名の方々にご参加いただきました。岡山の宗門改の特徴など、参加者のみなさまは興味深く聴講されておりました。

会期中の来場者は、延べ1,549人となりました。

来年度以降の池田家文庫絵図展もどうぞよろしくお願いたします。



## 知好楽セミナー報告

「知好楽セミナー」とは、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした中央図書館の独自企画です。各界から多彩な講師をお招きし、ご好評をいただいています。

- ・第31回「はじめての人のための「愛生」ヲ読ム会」

日時：2023年12月20日（水）14:00～16:00

講師：鏑屋翔子氏（長島愛生園内カフェ・さざなみハウス店主）

スミカオリ氏（ヨノナカ実習室）

松岡弘之氏（岡山大学学術研究院社会文化科学学域・准教授）

場所：中央図書館 本館 1F 日本総研プラザ（ラーニングcommons）

参加者：24名

長島愛生園やさざなみハウス等で開催されている「愛生ヲ読ム会」についての説明の後、「愛生」や「点字愛生」のバックナンバーを各自手に取り、気になった言葉やそこから感じたことを話し合いました。

参加者の方からは「入所者の生の言葉の力を感じた」、「他の参加者の感じた印象や感想を共有できてよかった」などの感想をいただきました。



## 学生・館長懇談会報告

中央図書館では、2023年12月14日（木）に、法学部、社会文化科学研究科、医歯薬学総合研究科の学生計3名の参加を得て、学生・館長懇談会を開催しました。この懇談会は、よりよいサービスの提供を目指して、学生から図書館利用についての意見や要望を直接お聞きするために実施するものです。この度の懇談会では学生から、イベントの開催や施設の利用などについてさまざまな意見や要望をいただきました。附属図書館では、これら学生からの貴重な意見をもとに、サービス改善に取り組んでいきます。

## 2023年度「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(冬) 実施報告

2024年2月24日（土）に岡山後楽園にて附属図書館と教育学部の共催による「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」を開催し、21名（小学生10名、同行者11名）の方にご参加いただきました。

参加者は、教育学部学生による紙芝居で後楽園の歴史を勉強した後、附属図書館所蔵の巨大絵図（複製）のうえを歩いたり、グループに分かれて縮小絵図（複製）を手に、自分たちで決めたルートで園内を回ったりして、絵図に描かれた昔の後楽園と現在の後楽園の違いを発見しました。最後にグループごとに発表を行い、それぞれの発見を発表し、共有しました。

## 図書館館内展示報告

### ○中央図書館

- ・展示「しっとる？献血のこと！へーそうなんじゃ！」  
展示期間：2023年11月7日（火）～12月28日（木）  
展示場所：本館1Fロビー



- ・文学部学芸員課程企画展「あなごころにわたしのそばにあったもの」  
文学部学芸員課程の実習生たちが「あなごころにわたしのそばにあったもの」という統一テーマのもと、ケースごとに規格テーマを設定しました。  
企画展示1「おもいで文房具～文房具の魅力を再発見～」  
企画展示2「おととつと、おとしもの」  
展示期間：2023年12月6日（水）～12月20日（水）  
展示場所：本館2F ムラタアカデミア



- ・中央図書館ミニ展示報告  
10月 木のある暮らし  
11月 宇宙・星空特集  
12-1月 あなたが知らない昆虫の世界

## ○鹿田分館

- ・「倉敷中央病院ってどんな病院？」

倉敷中央病院との企画展示。倉敷中央病院の設立理念・歴史から現在の「倉中」（倉敷中央病院の愛称）のこと・小ネタ集など、岡大学生に倉敷中央病院の紹介をする展示。  
 展示期間：2023年11月13日（月）～2024年4月30日（火）  
 展示場所：2階ロビー



- ・「生田安宅と鹿田キャンパス」

明治3年に岡山藩医学館設立後、すぐに財政難に陥った医学館を立て直すべく奔走した生田安宅に関する展示。  
 展示期間：2024年2月1日（木）～  
 展示場所：2階閲覧室



## ネーミングライツ・パートナーから中央図書館施設に愛称

ネーミングライツは、ネーミングライツ・パートナーにより本学の施設等に愛称を付与することで、当該施設等の魅力向上を図り、本学及び地域の活性化に貢献するものであり、さらに民間事業者と連携する機会を拡大することを目的としています。

本学では2020年度より同事業を実施していますが、この度、株式会社日本総合研究所及び株式会社岡山村田製作所とパートナー契約を締結し、中央図書館の各施設に愛称を頂きました。頂いた愛称が広く浸透し、学生・教職員、地域の皆様の教育・研究・学習（学修）活動に貢献できる施設となるよう、活用していきたいと思っております。

日本総研プラザ（ラーニングcommons、リフレッシュスペース）（2023.12～2026.11）



ムラタアカデミア（2023.10～2026.9）

ムラタスクエア（2023.10～2026.9）



## 岡山大学におけるオープンアクセス推進に係る論文掲載料支援について

本学では、電子ジャーナル出版社と締結する「転換契約\*1」に基づき、所属者がオープンアクセス (OA\*2) 出版する際にかかる論文掲載料 (APC\*3) を支援しています。これにより著者は出版社へ APC を支払うことなく、一報 5 万円の著者負担金を大学へ支払うことで OA 出版が可能となります。

対象者	原則本学に所属しており、「著者負担金」を公費で対応可能な教職員・学生で、以下に該当する者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Wiley : Responsible Corresponding Author</li> <li>・ その他出版社: Corresponding Author</li> </ul>
対象ジャーナル	以下の出版社が指定するハイブリッド OA ジャーナル*4, および Wiley, The Company of Biologists のフル OA ジャーナル*4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ The Company of Biologists</li> <li>・ Oxford University Press</li> <li>・ Rockefeller University Press</li> <li>・ Royal Society of Chemistry</li> <li>・ Springer Nature (※Nature 関連誌等は対象外)</li> <li>・ Wiley</li> </ul>
著者負担金	一報 5 万円 本支援は、本学が転換契約で対象論文を OA 出版するための費用を包括的に支出し、対象者に転換契約のための負担金を請求する仕組みです。 四半期毎 (3 か月毎) に附属図書館から各部局会計担当に依頼し、対象者に内部取引で請求します。 ※ 支払経費は公費のみ。第 4 四半期は原則、運営費交付金のみ
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 対象者は、<u>出版社が定める OA 申請承認手続き時点で</u>、本学に所属している必要があります。</li> <li>※ 出版社によって対象となる期間、ジャーナル、論文タイプ、年間 OA 出版可能数などが異なります。事前に附属図書館サイトをご確認ください。</li> <li>※ OA 出版プロセスは出版社によって異なります。事前に附属図書館および出版社サイトを必ずご確認ください。所定の手続きを経ていない場合、支援対象外となる恐れがあります。</li> </ul>
附属図書館サイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各出版社の詳細情報 (本支援以外の APC 割引情報を含む)  <a href="https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/apc.html">https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/apc.html</a></li> <li>・ 岡山大学オープンアクセス推進に係る APC 支援 (学内限定)  <a href="https://www.lib.okayama-u.ac.jp/campusonly/cms/transformative_agreement.html">https://www.lib.okayama-u.ac.jp/campusonly/cms/transformative_agreement.html</a></li> </ul>



## \*1 転換契約

従来の電子ジャーナル契約は、学術雑誌の購読料のみでしたが、転換契約では OA 論文を出版するための APC も含まれます。この契約では、「購読料」を「掲載料」に「転換」し、論文を広くオープンにすることを目的としています。

## \*2 OA

通常の論文は学術雑誌を購読しなければ利用できませんが、論文を OA とすることで、だれもがインターネット上で障壁なく利用できるようになります。OA 出版には、通常、著者が出版社に APC を支払う必要があります。

## \*3 APC (Article Processing Charge)

論文を OA にするために出版社へ支払う費用。

## \*4 ハイブリッド OA ジャーナル・フル OA ジャーナル

ハイブリッド OA ジャーナルは、著者が自分の論文を OA 出版するかどうかを選択できる学術雑誌です。一方、フル OA ジャーナルは、すべての論文が OA 出版される学術雑誌です。いずれの場合も、OA 出版する際には APC が必要です。

## 池田家文庫マイクロフィルム資料の一部オンライン公開開始について

岡山大学附属図書館と国文学研究資料館は、岡山大学附属図書館が所蔵する池田家文庫の藩政史料のマイクロフィルム（約6万5千件）の一部を「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（歴史的典籍 NW 事業）」の一環として、マイクロコンバートによるデジタル化に取り組んでいます。この度、2021年度に実施したデジタル化データの8,640点が2023年11月1日から公開されました。

国文学研究資料館「国書データベース」から閲覧できますので、ぜひご活用ください。

また、当館の池田家文庫マイクロフィルム目録データベースシステムからもリンクしております。各資料詳細データの「関連情報」に記載の URL から直接参照できますので、ご活用ください。

公開サイト：国書データベース

<https://kokusho.nijl.ac.jp/>

岡山大学附属図書館所蔵の公開作品リスト

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-okau.html>

池田家文庫マイクロフィルム目録データベースシステム

<https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/micro/>

池田家履歴略記		詳細表示
文庫名	池田家	
分類名	総記（池田家履歴略記）A8	
資料番号	A8-1	
リール番号	TAH-001	
コマ番号	1	
標題	池田家履歴略記	
巻次等	巻 1	
作成者	茶屋-與雄録	
形態	和紙転写本	
注記	転写者不明	
内容年次（和暦）	天文5年～天正8年	
内容年次（西暦）	1536年～1580年	
関連情報	hasFormat <a href="https://doi.org/10.20730/100430687">https://doi.org/10.20730/100430687</a>	

## ブックハンティング実施報告

ブックハンティングは学生が図書館の蔵書に相応しいと思う本や、多くの学生の利用が期待できる本を選ぶイベントです。

資源植物科学研究所分館では、2023年11月27日（月）に喜久屋書店倉敷店でブックハンティングを開催しました。8名（学生4名、教職員4名）の方にご参加いただき、選んでいただいた80冊のうち、所蔵済みの資料などを除いた66冊の本を購入しました。

## オリエンテーション・データベース講習会実施報告

### ○中央図書館

中央図書館では2023年10月～12月にオリエンテーションやラリー、ガイダンスを開催し、延べ49名の方にご参加いただきました。

2023年11月にはZoomなどを使用してオンラインデータベース講習会を開催しました。リアルタイムでは延べ22名の方にご参加いただきました。開催後には岡山大学 Moodle を介して記録動画を公開し、2024年1月31日までにオンデマンド配信で延べ156名の方にご覧いただきました。

### オリエンテーション、ラリー

実施日	対象	参加人数
10月10日～10月11日	新入生	9
11月7日	新入生等	26
12月1日	新任教員	2

### ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
10月20日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業にて実施)	12

### 講習会

実施日	データベース	参加人数	視聴者数*
11月8日	JapanKnowledge	5	57
11月15日	eol	6	62
11月22日	CAS SciFinder-n	11	37

\*2024年1月31日までのオンデマンド配信の視聴者数

## ○鹿田分館

鹿田分館では2023年10月～12月にオリエンテーション等を開催し、延べ17名の方にご参加いただきました。

### 講習会

実施日	講習会名	参加人数
10月25日、30日	効率的な文献入手講習会	7
11月29日	系統的な文献検索講習会	6
12月13日、18日	UpToDate 説明会	4

## ○植物研分館

植物研分館では2023年10月にオリエンテーションを開催し、6名の方にご参加いただきました。

### オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
10月2日	環境生命自然科学研究科新入生	6

## 教員からの寄贈図書リスト

次の方から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

### <中央図書館>

大澤 誠 [客員研究員]

文化的持続可能性とは何か：文化のゆるやかな共鳴を捉えるために  
——ナカニシヤ出版, 2023.8 (382.1/H 31)

徳永誓子 [学術研究院社会文化科学学域 (文)]

修験道とその組織 (論集修験道の歴史 1) ——岩田書院, 2023.6 (188.592/R 66)

修験道の文化史 (論集修験道の歴史 3) ——岩田書院, 2023.9 (188.592/R 66)

東野将伸 [学術研究院社会文化科学学域 (文)]

身分社会の生き方 (日本近世史を見通す 5) ——吉川弘文館, 2023.10 (210.5/N 71)

### <鹿田分館>

澤田大介 [学術研究院医歯薬学域 (薬)]

加速矯正による治療期間短縮のコンセプト：スピード矯正研究会ケースブック  
——クインテッセンス出版, 2024.1 (497.6/KA)

基礎から学ぶデジタル時代の矯正入門：IOS と 3D プリンターを応用したカスタムメイド矯正装置  
——クインテッセンス出版, 2023.5 (497.6/KI)

歯科矯正学における 3D 診断および治療計画：アライナー、OSA、TMD 治療にも応用できる最新のデジタル矯正——クインテッセンス出版, 2022.9 (497.6/SI)

## 会議

### ◆学外

- |            |                                     |            |  |
|------------|-------------------------------------|------------|--|
| 2023.11.18 | 令和5年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議（於：高知大学） | 2023.12.1  | 令和5年度中国四国地区国立大学図書系・学術情報系人事担当課長会議（ハイブリッド会議） |
| 2023.12.1  | 令和5年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議（ハイブリッド会議） | 2023.12.21 | 国立大学図書館協会中国四国地区協会助成事業成果共有会（オンライン会議）        |

### ◆学内

- |                      |   |                      |                             |
|----------------------|---|----------------------|-----------------------------|
| 2023.11.24<br>～11.30 | 令和5年度第4回岡山大学出版会編集委員会（メール会議）                                   | 2023.12.15<br>～12.21 | 令和5年度第5回岡山大学出版会編集委員会（メール会議） |
| 2023.11.28           | 令和5年度第2回附属図書館電子ジャーナル等経費検討委員会・電子ジャーナル等選定ワーキンググループ合同会議（オンライン会議） | 2024.1.30            | 令和5年度第2回附属図書館運営委員会（オンライン会議） |

## 研修

- ・第64回中国四国地区大学図書館研究集会  
参加者 久磨 由美子 (10.13)
- ・令和5年度大学図書館職員短期研修  
参加者 植山 廣紀 (10.17～20)
- ・令和5年度中国・四国地区国立大学法人等係長研修  
参加者 久磨 由美子 (10.19～10.20)
- ・令和5年度図書館等職員著作権実務講習会  
参加者 高橋 辰弥 (11.28)

## 編集委員から

図書館ホームページのトップ画面に「OU OneSearch」が登場して1年以上経ちました。ホームページには、「OU OneSearch」や蔵書検索、図書館の案内情報、図書館が提供するサービスやツール等々、色々なコンテンツがあります。いつもみているページ以外も閲覧し役立ててもらえたらと思います。

このページの一番下に図書館のホームページ URL と QR コードがあります。(K.F.)

---

岡山大学附属図書館報「楷」 No. 78 2024年2月29日

編集 広報ワーキング

岡山大学附属図書館発行

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1-1

ホームページ URL <https://www.lib.okayama-u.ac.jp>

